



東稲ニュース

第 114 号

早稲田大学校友会東久留米稲門会

令和2年 11月10日発行
発行責任者 高橋 哲男
編集責任者 小山田朋樹
E-mail: bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
http://higashikurume-toumonkai.com/
事務局 大矢 真弘 Tel.042-475-8532

2020年役員、部会長、歴代会長忘年会及び2021年東久留米稲門会新年会について

東久留米稲門会会長 高橋 哲男

紅葉の季節を迎えましたが、皆様にはご健勝にお過ごしのことと存じます。また、日頃東久留米稲門会をご支援、ご協力いただきましてお礼を申し上げます。

さて、令和2年5月10日発行東稲ニュース第112号にて第26回定時総会中止のご案内と併せて本年度の稲門会の行事は、遅くとも新年会は開催したいとご連絡いたしました。が、新型コロナウイルス感染は続いており、その解決に向けた具体策に至っておりません。また、5月22日付早稲田大学校友会からの自粛要請期間は、12月末までとなっており、練馬稲門会主催の新年1月16日の早稲オケコンサートは、中止となりました。そこで三密を避けることもあり、特に新年会は、ケータリング禁止で飲食を伴えないことから、今般10月役員会で苦渋の思いで、2020年役員、部会長、歴代会長忘年会及び2021年東久留米稲門会新年会については、中止とさせていただきますことを決定しましたことをご連絡するとともにお詫びいたします。

会の告知板

【部会予定】

11月26日(木)	ウォーキング&山歩き 「奥多摩むかし道」	8:10 東久留米駅集合
12月5日(土)	第2回役員会	16:00 生涯学習センター (予定)
12月6日(日)	会長・部会長・役員忘年会	<中止>
1月16日(土)	ニューイヤーコンサート	<中止>
1月17日(日)	東久留米稲門会新年会	<中止>
2月7日(日)	第3回役員会	16:00 生涯学習センター (予定)
2月25日(木)	映画鑑賞会「鉄道員」	14:00 成美教育文化会館(予定)
4月4日(日)	臨時役員会	16:00 生涯学習センター (予定)
4月17日(土)	東久留米稲門会第27回定時総会	14:00 成美教育文化会館 (予定)

【大学・校友会関係】

12月5日(土)	商議員フォーラム	書面審議に変更
3月13日(土)	春季代議員会	16:00 大隈講堂 (予定)



<各部会定例活動一覧>

部 会	11 月				12 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	12	木	10:00~	中央町地区センター	10	木	10:00~	中央町地区センター
書 道	8	日	13:00~	生涯学習センター	13	日	13:00~	生涯学習センター
俳 句	15	日	13:00~	生涯学習センター	20	日	13:00~	生涯学習センター
囲 碁	22	日	13:00~	成美教育文化会館	27	日	13:00~	成美教育文化会館
太極拳	7	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	5	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	14	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	12	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	28	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	19	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金		10:50~	東久留米スポーツセンター	毎週金		10:50~	東久留米スポーツセンター

会の報告

◎2020年度秋季代議員会の報告

2020年9月26日(土)に大隈講堂で開催予定であった「早稲田大学校友会秋季代議員会」ですが、6月の臨時代議員会と同様コロナ禍の影響により、メール等による持ち回り審議となりました。

今回の「協議事項」は、①2019年度決算承認の件、②推薦校友候補者承認の件、③校友会規程制定の件の3件でした。それに加えて「報告事項」として(1)校友会幹事退任幹事交代・退任について、(2)賛助代議員名称贈呈について、(3)代議員・支部長等異動について、(4)寄付のご報告と御礼、がありました。これらは全18頁に及ぶ資料に詳細が記されており、PDFで見に行く形になっていました。

①については予算規模8億6千万円で、その内2億4千万円が学生への奨学金でした。②は、4名の方が推薦校友候補者に。③は今回のコロナ禍のような特別な事態に際し、校友会運営を円滑にかつ滞りなく行うために、新たに「書面または電磁的記録による招集及び議決によって運営することができる」とする「規程」を制定する件でした。協議事項、報告事項の詳細を観たい方はご連絡ください。

6月の時と同様、特に反対する理由もなく、すべてに賛成する旨申請フォームにて投票し、10月1日に校友会事務局より、全ての協議事項が承認された旨メールにて報告がありました。 小山田 朋樹 記

◎役員会報告

2020年度第1回役員会が10月3日(土)16:00~生涯学習センターにて開催された。

<議事録概要>

高橋会長より、開会の挨拶の後、以下のような報告等があった。

1 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

年内の大学校友会関係行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、すべて中止となっている。なお、大矢事務局長から以下のような報告があった。

(1)「ワセダヘルスタディー」の東久留米の登録は目標人数24名のところ30名が登録している。最終目標は44名なので、興味のある方は大学HPにて確認いただきたい。

(2)校友会の組織委員会から、今年度達成したい項目として三多摩支部の支部長任期を4年にすることが挙げられている。また事業委員会より、中止になった2020稲門祭であるが、運営については今年度の当番である方が引き続き2021稲門祭を行うことになった。

*当会においても稲門祭の担当は継続することとし、2021年の担当は吉田氏・金子氏、2022年は金子氏・片平氏、2023年は片平氏・大矢とする。

2. 今後の役員会

12/5 (土)・2/7 (日)・4/4 (日)

3. 会長・部会長・役員忘年会 <12月の役員会当日>

以下のように計画していたが、大学校友会の自粛要請に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度は中止とした。

(1) 日 時：12月6日(日) 18:00～

(2) 場 所：「寿美吉」(東横イン裏の蕎麦屋) 042-472-8400

(3) 会 費：5000円

4. 新年会

以下のように計画していたが、忘年会と同様に、大学校友会の自粛要請に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度は中止とした。

(1) 日 時：2021年1月17日(日)か24日(日) 14:00～

(2) 場 所：成美教育会館3階 大研修室

(3) その他：実施する場合、市内の40代から60代の校友にも案内し、60代には役員が訪問し勧める予定。

5. 2021年度定期総会

(1) 日 時：2021年4月17日(土)

(2) 場 所：成美教育会館1階ギャラリー、3階大研修室 <予約済>

(3) 講演者の件：正田浩司氏「武蔵野の段丘と湧水」1983(昭58)理工学部大学院卒 埼玉県立高校地学担当教諭

6. 会費納入状況等

9月24日現在 納付者 133名(予算計画 150名、予算計画より17名不足)

*高橋会長より退会者への声掛けをし、再入会を依頼する。

7. 広報関係

(1) 東稲ニューズ記事の募集、印刷日時等

原稿締切：10月25日(日)

印刷日：11月7日(土) 17:30～生涯学習センター印刷室・学習室5

*前川氏が仕事の都合で編集委員を退任したので、後任を募集している。

(2) ホームページについて

高橋会長から、HP委員として高橋会長・小山田副会長・大矢事務局長・山口事務局長次に加え、坂井氏と呉氏に依頼した。10月中にHP委員会を開催したいとの報告があった。

8. 映画鑑賞会

年内は中止とし、来年2月の開催の可否は12月の役員会において決定することとした。

<2021年2/25(木)「鉄道員」、5/27(木)に実施予定。>

9. サークル・部会関係

- ① 女性サークル ② ゴルフ ③ 囲碁 ④ 俳句 ⑤ 書道 ⑥ 太極拳 ⑦ グルメ ⑧ 郷土研究 ⑨ ウォーキング&山歩き ⑩ カラオケ ⑪ 春秋野球早慶戦観戦 ⑫ ラグビー観戦 ⑬ 諸芸術鑑賞 ⑭ 旅行同好会 ⑮ バドミントン ⑯ マグカップ ⑰ 映画鑑賞会

*今年度、部会補助金として9つの会へ1万円補助してあるが、活動(支出)が無かった部会の補助金は年度末に返金することとする。

(1) ラグビー観戦は黒坂氏が部会長に就任した。

(2) グルメと郷土研究の部会長は、2021年度に変更を検討する。



(3) 今年度、旅行同好会は実施しない。

10. その他

(1) 2021年度の年会費については、今年度の決算予想、当会の30周年の記念事業等を勘案し、12月の役員会において相談することとする。

(2) 2021年度の活動について、大学校友会の方針も確認し、決定する。

以上

・次回役員会について

2020年12月5日(土) 16時より <予定>

<会場の都合により、12月6日から12月5日に変更になりました。>

大矢 真弘 記

◎東京三多摩支部会長会

2020年度東京三多摩支部会長会(総会)は開催ができないため、会長会(総会)資料を各会に送り、7月から8月にかけて書面にて審議となりました。

議事について

第1号議案 2019年度事業報告並びに決算・監査報告

第2号議案 2020年度支部役員選出

第3号議案 2020年度事業計画並びに予算案

第4号議案 次期(2021年度)主幹稲門会選出

第5号議案(1) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急支援金について

(2) ブロックの活性化と支部長任期4年制について(アンケート)

(3) 三多摩支部貯金(預金)口座名義変更のため規約の追加について

議事以外では、会費の値上げを幹事長・事務局長連絡会議への提案

第1号議案から第4号議案までは定例議案であり、質問及び異議はありませんでしたが、第5号議案は特別案件であることから会費の値上の提案とともに3稲門会から質問及び異議がありました。書面審議の結果は、(1)については、会員一人あたり100円の寄付(2)については継続審議であり、アンケートの実施(3)規約の追加は承認となり、会費については、幹事長・事務局長連絡会議で現状の把握と会費改定の検討をすることになりました。



高橋 哲男 記

部会だより【活動報告】

<郷土研究会> 柳久保小麦について

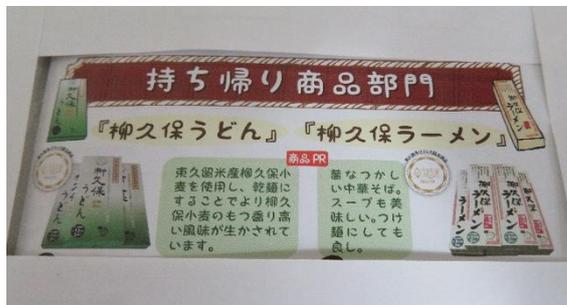
早稲田学報2020年10月号に稲門祭の東久留米稲門会ふるさと賞、柳久保うどんについて投稿しましたが、東久留米稲門会会員の皆様に柳久保うどんが原料の柳久保小麦について浅薄な知識ですが、郷土研究会として説明をさせていただきます。

稲門祭には、ふるさと賞として柳久保うどんの他、柳久保ラーメン、かりんとうを交互に協賛していますが、柳久保小麦を原料としてまんじゅう、パン、クッキー、ホットケーキ粉、石けん等が生産されています。

東久留米市は、複数の川がありますが、水源地が近く水が冷たいことや都営団地への水田の分譲や都市化に伴い平成になり改善されましたが、当時は汚水が流れたことから水田には適さず、野菜づくりが農業の中心になりました。一方小麦は11月頃に種をまき、翌年6月頃に刈り取りをするので冬場の農地の管理に適したものでした。そこで小麦をつくり農家でうどんづくりにつながりました。ただし、

現在では農業経営として都市近郊野菜の売上利益率等に対して小麦は低く、小麦生産農家は市内農家の10%以下に減少しています。

柳久保小麦の品種は、嘉永4年（1851年）現在の東久留米市柳窪の奥住又右衛門が旅先から持ち帰った一穂の麦から生まれ、優良な小麦であったため評判になり東京各地や近県で栽培されこの麦から良質の粉ができるため、うどん用として大変人気がありました。また、麦の草丈が長いので麦藁は農家のわら屋根にも利用された重要な品種でした。こうして長い間栽培されていましたが、背が高く倒れやすいので量産が困難なため、昭和17年以後は作られなくなりました。昭和62年保管していた農林水産省生物資源研究所から東京農業試験場にきた300粒の種を東久留米市以外に持ち出さないことを条件に又右衛門の子孫が譲り受け、復活いたしました。



柳久保小麦の商品



柳久保小麦

柳久保小麦はその後1戸の農家で細々と栽培されていましたが、「柳久保小麦を東久留米市の特産とし、市の産業に結びつけることができないか」の提言のもと、市は農業委員会に協力を求め、8戸の農家で平成15年9月「東久留米小麦の会」を設立、現在17～18戸の生産者と2名の協力者で生産から販売までの一連の作業（6次産業化）を行い柳久保小麦の継承を目的として活動を行っています。ただし、一般小麦の政府買入価格1等（60kg2018年7146円）よりも2,000円程度高いものの年間生産量は約6トンで一般小麦の反当たり1/3～1/2の生産量であり、採算を取るのには極めて難しい状況です。

最後に昭和初期の久留米村の農業公民学校の講義から「この久留米村は農地として恵まれていて多種類の農作物が出来るが世間に名の知られた農作物が無い、即ち、さつま芋もよく出来るが名は川越に取られ、大根は練馬で、人参は片山、ごぼうは入間で、だが一つある、小麦の柳窪である。」

（参考資料統計東久留米令和元年版、ビジョン連携推進会議資料（H27）

高橋 哲男 記

<囲碁部会>

10月25日2月以降8ヶ月振りの囲碁部会開催となりました。酒井幹事さんから事前のメールでマスク着用、アルコール消毒、窓の換気、大声禁止などの厳守を呼び掛けていました。対局テーブルを5組用意し間隔を空けました。久しぶりに集まれたとの挨拶をし、対局がスタート。7名の参加者でした。途中手ピカジェルでの消毒に廻ったりしながら私は地の計算を誤り大敗を喫しました。中押し負けで「参った!」とすべき場面でした。休会している間に強くなっている人も居ると悔しくも喜びました。3名の方が事前に不参加表明がありました。会としては先ずまずの立ち上がりでした。

中村 敏明 記



<書道部会>

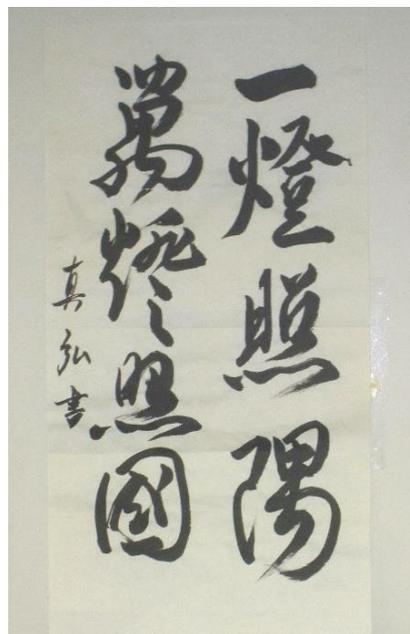
10月11日、スペース105にてミニ書道作品展を行いました。一堂に展覧された書を見つめながらお互いに自作品の厳しい評価と反省で次なる課題を検討しました。特に作品にメリハリを生かすこと、緊張感の雰囲気を出すことでした。今回、展覧中の作品から2点を披瀝します。

大矢さんの書作品「一燈照隅・萬燈照国」

(いっとうしょうぐう・ばんとうしょうこく)

比叡山延暦寺を開いた伝教大師、最澄の言葉「最初は一隅を照らすような小さな灯火でも、その灯火が万となれば、国中をも明るく照らすことになる」稲門会の皆様が一人ひとり自分の身近の一隅を照らし続けて頂ければ”大きな灯”となりより稲門会の発展が期待されます。との熱い思いを込めて大矢さんが頑張ったこの最澄の言葉を揮毫されました。

書評：書作品は筆力、筆勢があり爽快な書きぶり、落款（名前）もよい位置に納まっており佳品です。（大矢さんの素直な心が書に表れています）課題は作品全体のバランス、（2行目の中心ブレ・蛇行）字間の余白、メリハリの工夫等を検討し書的美を意識することです。それには更に書き込んでいくことです。費やす努力と時間をかければその流れの中に知らず識らずの間に書に磨きがかかりヒントを見出します。大矢さんの資質であればその成果は大いに期待できます、頑張りましょう。



書作者：大矢さん

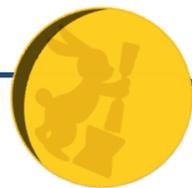


書作者：上田さん

上田さんの書作品「則天去私」（そくてんきょし） 夏目漱石が晩年に理想とした無私の境地を表した言葉。小さな私にとらわれず、身を天地自然にゆだねて生きて行くこと、「則天」は天地自然の法則に従うこと、「去私」は私心を捨て去ること。上田さんはこよなく漱石を敬い、慕い、愛し、この則天去私を座右の銘として日々哲学的思考で一人静かに唯我独尊的（独身貴族）な人生を楽しんでおられます。（とは言え結婚願望もあり花嫁募集中です）目下、文才を生かして小説を執筆中とか！有名な賞？を狙っておられるとか！目の輝きが印象的です。

書評：書作品は努力の成果がみられます、この一年間この則天去私の4字を懸命に書き続けて漸く仕上げられた作品です。力強く、丁寧に丁寧にゆったりと書かれた書です。添削するところは少々ありますが初学者の上田さんにしては大変な努力であり精一杯の力作です。本人はこれ以上の書は書けないと、悦の境地ですがそれでは進歩が止まりますよ！初学者にとってまず大切なことは手本を見るのではなく、見つめることです。目の力（鑑賞力）を養うことです。手本に穴が開くぐらい見つめましょう。手本の書と自分の書を比較し違いを見抜く力を養いましょう！手の力より目の力です、手の力は目の力を超えることはできません。書作品が書けるようになるには3多（多書、多見、多聞）です。書いて書いて書きまくりましょう、目の力を忘れずに！

武藤 豊（号：豊翠＝ほうすい）



<俳句部会>

第 241 回 9 月 27 日(日)

兼題：夜食 虫一切 他当季雑詠 1 句

< 高点句 >

こおろぎに北極星の共鳴す	杉本達夫
木の実独楽上手に回し兄となる	片平るみ
蟪蛄の立ち往生は弁慶似	馬場清彦

< 自選一句 >

夜食とる明日の体重気にしつ	神田尚計
こほろぎやあの人この人も亡き	川島知子
すすき野にくるくる回るわらべあり	横田慧子
食べかけの夜食の傍で眠る吾子	三浦洋子
今日ひと日恙なくして夜食かな	比護喜一郎
秋蝶の停まりし鉢を扱ひけり	橘優治
尼寺の賑はひとして秋薊(あざみ)	大久保泰司
西の窓こほろぎ鳴くや今年また	本間信一

第 242 回 10 月 18 日(日)

兼題：胡桃 後の月 他当季雑詠 1 句

< 高点句 >

縄文の炉辺もかくや胡桃割る	比護喜一郎
リハビリの姑の握りし胡桃かな	川島知子
果てのなき円周率や空高し	片平るみ

< 自選一句 >

終バスを降りて見上げる後の月	三浦洋子
十三夜光は浄土にあるごとく	杉本達夫
コロナ禍の数字気になる今朝の秋	馬場清彦
胡桃割るふるさとの山隈びつ	神田尚計
山の端の古民家照らす後の月	大久保泰司
数珠玉を束ねてゆらす帰り路	横田慧子
十月の手摺りを頼る足元や	本間信一
落花生の塩茹でつまみハイボール	橘優治



片平るみ 記

<ウォーキング & 山歩き部会>

今年2月の善福寺緑地公園以来コロナ禍の為に中断してきましたが、GO TO TRAVEL の東京制約も解除されたこともあり、未だ油断のならぬ状況には配慮を忘れずに、部会活動を再開することと致します。行動途中での交通機関内のマスク着用には従うこととして、歩いている時はマスクをしないで済む、密集のない場所を巡るハイキングで再開します。

(公園や植物園等は屋外であっても全てマスク着用なので、この制約が外れる迄対象外とします) 当面の活動予定は、下記の通り。

ウォーキング & 山歩き (第 78 回) 奥多摩むかし道

日時：11月26日(木) 8:10 東久留米駅改札口集合 *雨天の場合中止 東海 俊孝 記



11/2 日和田山金刀比羅神社にて

特別企画

「コロナ禍の中で」

秋山郷

井坂 宏 (S38 理工)

今年の5月に久しぶりに稲門会旅行同好会のバス旅行を計画したが、新型コロナウイルスのため中止になってしまった。旅行もままならない中、旅好きとしては地図と時刻表で旅を想像するしかない。地図と時刻表の旅も結構楽しいものである。

今回は秋山郷を旅しよう。秋山郷は新潟県と長野県の境の長野県側であり、日本最後の秘境と言われた所である。今では秋の紅葉のシーズンには観光バスも入ってくるようであるが、それ以外の時期は車を使わない限り電車とバスを乗り継いで行くとしても不便な所である。バスは新幹線の越後湯沢駅から1時間かけて津南まで行って、そこでバスを乗り継いで更に1時間半かけて行かなければならない。

津南からのバスは1日数本しかないので、まずバスの時間から調べる。そこからさかのぼって東京を発つ時間を決める。上野駅を午前11時46分発の「とき319号」で行くと13時に越後湯沢に着く、13時40分のバスで行き、津南で乗り換えて16時に秋山郷の和山温泉に着く。秋山郷にはいくつかの温泉があるが、一番奥の切明温泉に行くには、事前に宿に頼んでおいて迎えに来てもらわなければならない。ここから宿の車で10分くらいかかる。

秋山郷は江戸時代から秘境と言われていたところで、北越雪譜で有名な鈴木牧之が文政11年(1828)に秋山郷を旅し、秋山紀行を書いている。それによると秋山郷は米の採れない貧しい地域で、外部とのつながりもほとんどなく年に数回塩沢当りから行商人が入ってくる位であった。牧之はここで大秋山村という村が飢饉で全員が餓死して村が無くなったという話を聞かされている。



今の秋山郷にはいくつかの集落があり、それぞれ旅館、民宿が数件あるようである。民俗資料館があるので、そこでは鈴木牧之の秋山紀行を体験できそうである。

秋山郷は中津川の源流に近いところで、イワナが良く釣れるので今では釣り客が来たり、秋には茸採りが入ってくるらしい。切明温泉の宿の下を流れている河原の石を掘ると温泉が出てくるというので河原での露天風呂が楽しめる。

帰りは和山温泉を12時50分発で発つと16時54分に上野に着く。

新型コロナウイルスの今日この頃、人の集まる所だけでなく人の居ない秘境の旅も如何でしょうか。

(旅行同好会部会長)

マイナポイントゲットするぞ!

片平 るみ (S51 文)

ことさらの主義主張があつて、マイナンバーカードを作らなかつたわけではありません。ただ必要性を感じなかつただけのことです。それが、何やら5000円貰えるらしいとのことで、一気に心はマイナンバーカード作成に傾いたのです。カード作成の申請は、スマホで簡単にできました。写真もスマホで自撮りした(とんでもない)写真を使用。申請から1か月くらいで交付のお知らせがきましたので、市役所に行き、二種類の暗証番号を決め、受け取ってきました。全て無料でした。

次はいよいよ、マイナポイントの申請です。まず、5000円をどの電子マネーで受け取るか決めなければなりません。これはいつも使っているワオンに即決です。ワオンのホームページを見て、WAON マイナポイントというアプリを入れました。マイナポイントというアプリも入れました。(この二つのアプリは、スマホの機種によってはダウンロードできません。)あとは、表示に従って、WAONの番号を入れたり、スマホでマイナンバーカードを読み取ったり、ほんの数分の作業で終了です。来年の3月31日までにWAONで20000円使用すると、最高額のマイナポイント5000円が支給されるということで、楽しみにしています。私のスマホはこれらの作業に対応していましたが、夫のスマホは対応していません。そういう場合の情報をネットで調べたところ、セブンイレブンのATMでなら出来るとのこと。早速、セブンイレブンに出かけ、今度は電子マネーナナコに付与してもらうよう、手続きをしました。こちらは、スマホでの作業よりよっぽど楽でした。ナナコをかざしたり、マイナンバーカードを挿入したり、あっという間に終了です。世の中はIT化が進んできましたが、ヒーコラ言いながら何とかついていこうという闘いは、今後も続いていくのでしょうか・・・ がんばらねば!



東稲広報室

<ホームページ改訂につき、ご意見を募集します>

今年1月に当会のホームページが一時閲覧不能となる事故が起きました。その経緯は、東稲ニュースNo.112(5/10刊行)役員会報告に記載されていますが、その修復にあたっていただいた坂井淑晃幹事を中心に「ホームページ管理委員会(仮称)」を組織し、来年夏を目途に現在のホームページを『より皆で使いやすくする方向』で改訂することにいたしました。

既に作成から5年経過して現状に合わない部分も出て来ており、会員の皆様から、現在のホームページについての修正希望や、ご意見を募集いたします。11月末までにメールにて坂井幹事宛お願いいたします。 <宛先: sakaiy@jcom.home.ne.jp>

<お詫びと訂正>

前号の「東稲ニュースNo.113」(9月10日発行)の4頁、俳句部会報告の作品中に校正漏れのミスがありました。正しくは以下の通りです。お詫びして訂正いたします。

【誤】薄暑光枝のふりする青い虫 三浦洋子冷 ⇒ 【正】薄暑光枝のふりする青い虫 三浦洋子

【誤】素麺湯の中騒ぎ今静か 森川紀一 ⇒ 【正】冷素麺湯の中騒ぎ今静か 森川紀一

東稲ニュース編集委員会

<会員リレーエッセイ> ~噴水広場~

映画バカの生きざま

米光 慶二郎 (S36 文)

私が最初に映画に出会ったのは昭和19年頃、中国でした。当時私たちは中国の揚子江中流の武漢という所で生活していました。武漢は揚子江中流で、河巾は広く、対岸の武昌はかすかに見える程でした。最近の武漢は新型コロナ発祥の地として知られ、イメージを悪くしていますが、当時は街も美しく文化的都市として人口も上海に次ぐ大都会でした。

私が最初に見た映画は小学1年の時、父親に連れられて、エノケンの<法界坊>・1938年、阪妻の

＜丹下左膳こけ猿の壺＞でした。その後まもなく米軍の大空襲に合い、学校も映画館も消失しました。

その後、小学2年の春、家族は内地（佐賀）に引き上げました。当初はジョニー・ワイズミュラーのターザンものを観てましたが、4年生の時、黒澤明の＜酔いどれ天使＞を観てびっくり、映画観が変わり映画にのめりこみました。正月は元旦から毎日1週間、ゴールデンウィーク、ナイトショー（主にフランス映画の旧作）、更に映画館の地図を拡げて行って毎月福岡へ車で約2時間くらいかけ、そして東京には夏休みに20日前後かけて観まくりました。

大学は早稲田演劇科（演劇博物館があるのが決め手でした）にしました。授業は古典芸能を学んで期待外れ。

東京では新宿伊勢丹前の日活名画を一番利用しました。駅から近いし、料金が安い（稲門会の市川先輩も利用していたのでよく語り合いました）、生活は映画と演劇で1万回、書籍で1万冊が目標でした。現在7千位で到達は無理になってきました。

さて、私の好きだった作品とスタッフ、キャストはどれだったかと云いますと、監督ではアメリカはビリー・ワイルダー、ウィリアム・ワイラー、役者では男優がゲーリー・クーパー、モンゴメリー・クリフト、女優ではイングリッド・バーグマン、作品では＜サンセット大通り＞、＜第十七捕虜収容所＞、フランスではジェラルド・フィリップ、＜情婦マノン＞、＜肉体の悪魔＞、英国ではローレンス・オリヴィエ、イタリアでビットリオ・デシーカ、ポーランドのアンジェイワイダ、スウェーデンのイングマール・ベルイマン。

日本では黒澤明＜七人の侍＞、＜酔いどれ天使＞、小津安二郎＜東京物語＞、木下恵介＜日本の悲劇＞、他 溝口正史、吉村公三郎。

映画中心にとりとめもなく書いてみましたが、いずれにしても寿命も伸びましたし、最後まで＜我が人生に悔いなし＞と行き（生き）たいものです。



東久留米市を 歩こう！キャンペーン

東久留米市内のウォーキングコースを8コース記載した「わくわく歩くめマップ」が市の健康課より発表されました。市役所、図書館、各地域センターなどで入手できます。3コース以上歩き、市役所健康課に届けると、缶バッジがもらえるとか・・・歩くには絶好の季節、市内のウォーキングに挑戦してみませんか！



＜編集後記＞

コロナ禍の中でようやく各部会活動が少しずつ再開。感染予防対策を徹底しリスクの少ない形で活動を楽しみたい。欧米諸国に比べれば桁違いに感染者数は少ないが、それでも高齢者には危険、東京の感染者数も横ばい状態。少しでも明るい話題を、という事で今号の編集方針を話し合ったが・・・。マスク着用手指の消毒と新たな生活様式が定着するも、早期のワクチン・特効薬の完成を期待したい。（小山田）

編集委員：片平 るみ（今回の担当）、有賀 千歳、小山田 朋樹